

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(やすらぎ・いたわり)

## 「フードバンク活動を生かした生活困窮世帯の子どもへの学びの場と居場所づくり」事業

### 貧困世帯の子どもの低学歴化や貧困の連鎖を防ぐため、定期的な学びの場と自由に過ごせる時間を提供

経済的に厳しい家庭で育つ17歳以下の子どもの割合を示す「子どもの貧困率」が13.9%（2016年厚生労働省）という日本。2008年の発足以来、「フードバンク山梨」では、食料支援を必要としている生活困窮世帯に食品を届けるフードバンク活動を実施してきたが、学習と食事を合わせて提供する支援策「えんぴつひろば」を新たにスタートさせた。



子どもたちに学習と食事を提供する「えんぴつひろば」



「えんぴつひろば」の活動を告知するチラシ

#### フードバンクこども支援プロジェクトで把握した問題を解決するための新たな試みに着手

「認定NPO法人フードバンク山梨」では行政や学校と連携し、学校給食のない夏休み、冬休みに子どものいる生活困窮世帯に集中的に食料支援や学習支援を行う「フードバンクこども支援プロジェクト」を実施している。2016年冬に行った第4回プロジェクトでは511世帯、1,078人の子どもたちを支援したが、こうした取り組みを通して、これまで見えなかった多くの子どもたちの困窮状態を改めて知ることになった。

先生方へのアンケートで、貧困によって他の子どもと生活格差が生じ、それが自己肯定感の低下やいじめにつながるリスクが高まることが示されたほか、同法人が実施している「食のセーフティネット事業」で食料支援の対象となっ

た保護者へのアンケート結果や同法人に届くハガキを見ても、ひとり親や低収入の世帯が多いため、「塾に通わせられない」「子どもの学習に目が届かない」など、切実な声が寄せられているという。

このままでは将来的に生活困窮世帯の子どもの低学歴化、貧困の世代間連鎖につながりかねないと危惧する同法人では、そうした子どもたちを対象とする定期的な学習支援と食糧支援の場として、2017年に「えんぴつひろば」という事業をスタートさせた。山梨県の中央市と都留市の2会場で行われた事業だが、このうちの中央市田富総合会館を会場に行われている「田富えんぴつひろば」の講師謝礼、教材・備品費、食材費、広報活動費などの運営費用全般に、AJOSCの助成が活用された。

#### 学習と食事、ゆとり時間を定期的に提供する「えんぴつひろば」を開設

田富えんぴつひろばには、中央市と南アルプス市の小学校6校に通う1年生から6年生の23名が登録しているが、これは同法人が通常のフードバンク活動で食料支援をしている家庭、および学校や福祉機関などで支援が必要と判断された生活保護世帯などのうち、参加を希望した子どもたちである。

原則、毎週土曜日の10:00～15:00に開催され、午前中はパズル形式のドリルを活用した学習や持参した宿題による学習（各45分）を行い、昼食をはさんで、午後はのんびりタイムと呼ばれるレクリエーションを中心とした自由時間となっている。さらに貧困によって失われている「経験」を補うため、コンサートや映画鑑賞、フルーツ狩りなども実施している。

学習時間の講師、昼食の準備や調理には、元教員、学生、一般市民などのボランティアがあたっている。「講師からは『子どもたちの人間関係づくりに役立っている』『回を重ねるにつれ、勉強に熱心に取り組むようになった』、保護者からは『普段、できなかった用事を済ませることができる』『仕事に出かけられる』といった声が寄せられています。当の子どもたちの中には、『ここが自分にとっての塾だ』『ごはんがおいしくて、お腹いっぱい食べられる』と話す子もいます」と、学習支援担当である花輪由記子理事は話す。

同じく学習支援担当の河野有良さんは、「子どもたちは落ち着いて学習したり、満足に食事をしたり、のんびりタイムに友だちやボランティアの学生と気兼ねなく触れ合うことで、自分だけの世界から周囲の世界への目が開かれるようです」と、場づくりの重要性を語る。同法人では今後さらに、この事業を広げていく予定だという。



外国人講師による英会話授業も開催



学習以外にも子どもたちが楽しめるレクリエーションを実施

助成団体: 認定特定非営利活動法人 フードバンク山梨 <https://fbyamana.fbmatch.net>



#### 貧困の連鎖を未然に防ぐため、ボランティアと協力して活動を継続

私たちの活動は公的な助成金が少ないため、企業や市民の方々からの寄付によって成り立っています。今回、AJOSCの支援により、生活困窮世帯の子どもたちに向けて、昼食も含めて一日過ごせる学習教室を毎週、実施することができました。感謝しております。全国的にも珍しい取り組みですが、さらに活動の範囲を広げ、この事業を推進していきたいと思っております。

認定NPO法人 フードバンク山梨  
理事長 米山けい子さん